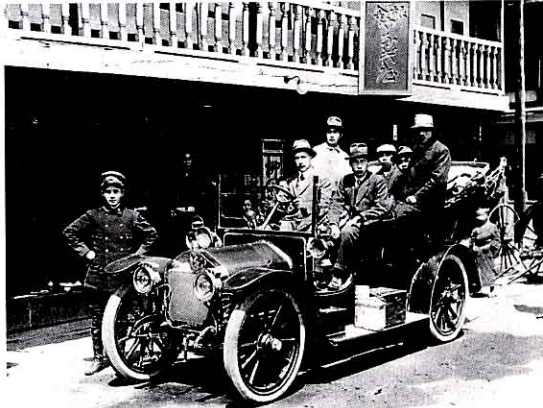


② おじいさん・おばあさんが、子どものころ



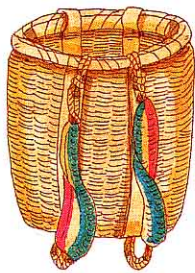
たいいよう
太平洋戦争が始まったころ、西郷村の人々は、
どんなくらしをしていたのでしょ。う。



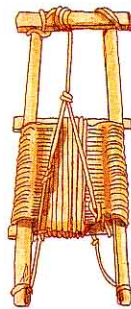
60年前ごろ 自動車

男の人の多くが戦争に行き、人びとの生活も苦しくなりました。

食べ物がふそくし、「ぜいたくは、てきた」と教えられました。



しよいかご



やせうま



とやま
富山の薬売りの話を聞いたことがあるよ。



[かおりさんの
となりの
おじいさんの話]

のりあい
自転車や乗合自動車が走るようになったが、ほとんどの家は、やせうまやしよいかごで荷物を運んだんだよ。

白河まで荷物を運ぶのは、馬や牛の仕事だったのさ。

村には、いろいろな所からぎょうしょうこん行商人が、くすり薬やなべなどを売りに来ていたな。(昭和20年ごろ)